

金 剛 石

八代市立第六中学校

学校だより

令和8年10月2日

文責：校長



校訓：「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成 ～共に成長していく学校～」

Save the Children からの支援 ～「どっさりゼリー」から考える～

2学期スタートから続いている応急給食、シルバーウィーク明けの9月24日（木）からは「ヒライのお弁当」からおかずの提供がはじまり、品数や彩りも増えました。また、先週と今週の金曜日にはデザートに「どっさりゼリー」が付き、豪華な給食になりました。お弁当は八代市から、そしてゼリーは Save the Children（セーブ・ザ・チルドレン）という団体からの支援です。南部給食センターが被災し、復旧まで時間がかかるということで多くの方々がみなさんを支えてくださっています。本当に有り難いことです。



さて、前述の「セーブ・ザ・チルドレン」という団体について紹介します。1914年に始まった第一次世界大戦はヨーロッパの多くの国々を巻き込み、1919年にベルサイユ講和条約が結ばれるまで続きました。この戦争では戦車や戦闘飛行機、潜水艦や毒ガスなどの兵器が使われ、人類史上最大の被害を出すことになりました。多くの国が荒廃し、助かった子供たちの多くが栄養不良になっていました。この状況を解決するために創設された団体が「セーブ・ザ・チルドレン＝子供たちを救う」です。この活動は世界に広がり、国連の「子どもの権利条約」にもつながっています。日本では1986年に設立され、人道支援や復興支援などの活動をされています。

今回の被災はみなさんにとって大変なこと、辛いことだったと思います。しかし、平和な世の中であるからこそ、安心して勉強や運動ができ、給食を食べることができます。自然災害は避けることはできませんが、戦争は人間の意思で防ぐことができます。みなさんには民主的に課題を解決していける力を身に付けて欲しいと強く願っています。そのために学校で人と関わりながら学んでいく必要があります。



来週からは西部給食センターから給食が配送されることになっています。久しぶりの通常給食、心から「いただきます！」と感謝しながら食べましょう。

前期終了 ～後期に向けて新たな目標設定を～

前期の期末考査が終わり、来週は前期の通知表が配付されます。今年度の半分が終了することになります。4月から1年生は中学生になり、これまでと大きく環境が変わりました。2年生は先輩として、3年生も最上級生として学校生活を送っています。1学期は体育大会や中体連大会もありました。これから文化祭や生徒会役員改選も控えています。また、3年生はいよいよ進路決定の時期に入ってきます。節目の時期です。この時期、自分自身を改めて見つめ直し、この半年間を振り返り、新たな目標設定をしてください。目標がないと、なんとなく時間が過ぎていってしまいます。目標を設定することで、その達成に向けて歩を進めていくことができます。



月日が流れていくのは早いです。後期も一日一日を大切に過ごし、目標に向けて自分を磨き、成長していきましょう。

朝ボランティア ～たくさんの六中生が参加～

毎月第1・3木曜日の朝、生徒会執行部の呼びかけで朝ボランティアが行われています。しっかりと定着し、地域の方々も主体的に参加していただいています。作業内容は自分たちで考え、学校の周りのゴミ拾い、職員玄関や昇降口の清掃などをしてくれています。今週10月1日（木）は夏の間にグラウンドいっぱい生えた草取りでした。7時45分からの活動に50名以上の生徒が参加してくれました。学校をきれいにし、自分たちの心も磨いている六中生は輝いて見えます。まさに「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」という校訓を具現化してくれています。すばらしい！ これからもさらに六中生に磨きがかかり、輝いていってくれることを期待しています。金剛石のように！

